

Title	Theme 1 : 教育／成長
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 20 P.3-P.3
Issue Date	2013-05-10
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/24940
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

Theme 1

教育／成長



〈教育〉あるいは〈成長〉という言葉から、どんな世界を連想するだろう？読者諸氏はいかがだろうか？

一口に〈教育〉といっても、それが意味する範囲は限りなく広い。きっと多くの人が、学校という場所に限らなくとも、何らかの〈教育〉を受けていることと思う。だからきっと、この言葉からは、個々の人たちが経験してきた〈教育〉の世界が連想されるだろう。本書では執筆者の方々が、〈教育〉の場に身を委ねつつも、ご自身の立場からこれを考察してくれた。その皮膚から得たであろう感触を、言葉にしていた。

また、〈成長〉とはなんだろうか。無理矢理に例えるならば、山頂へと至るために用意された登山道を、ただひたすらに歩き続けることだろうか。口癖のように「私はまだまだ未熟だ...」と謙遜する人もいるかもしれないが、山の麓には未熟者が、頂は成熟者が占拠するのだろうか。

比較によって規定された〈成長〉ではなく、執筆者の手触りのなかにある〈成長〉を感じ取っていただければ嬉しい。